

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-2-1	事務事業名 西原自然公園植生管理事業	所管部課 都市整備部公園緑地課
--------------	-----------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 環境にやさしいまちづくりの取り組みである【みどりの保全・活用】の一環として、市内でも数少ない貴重な樹林を有する西原自然公園において、間伐による適正な林分密度管理などを行い、主林木であるクヌギやコナラの成長等を促すため、市民団体である「西原自然公園を育成する会」と協働で植生管理を行う。	総合計画上の位置づけ (政策)環境にやさしいまちづくり (施策)みどりの保全・活用(環1-1) (主要施策)緑地・樹林地の保全
	実施内容、実施方法 更新区域約20,000㎡を20年かけ1年に1,000㎡の割合で間伐し、間伐材の無料配布を市民に対し行う。また、市民公募による植栽作業の参加呼びかけをし、新しい苗木(クヌギ・コナラ)の植栽を行う。	根拠法令等 なし
事業開始時期 平成 16 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()		

評価指標の設定	活動指標名 更新作業への出勤回数	活動指標の考え方(定義) 市職員が出勤する回数(初年度のみ説明1・積算1・立会前中後3・間伐材配布1・苗木植栽1)
	植栽本数	当該年度に更新作業のために植栽した本数
	成果指標名 更新作業面積数	成果指標の考え方(定義) 約20,000㎡のうち、更新作業をした面積数(累積)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		0	0	3,780	2,594
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		0	0	3,780	2,594
	所要人員(B)	人			0.1	0.1
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	833	833
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	4,613	3,427
	単位当たりコスト (E)=(D)/(更新作業面積数)	千円	0	0	4.61	
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			7	6
	実績値	回			7	
活動指標	目標値	本			65	85
	実績値	本			85	
成果指標	目標値	㎡			1,000	2,000
	実績値	㎡			1,000	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	ボランティア会員の高齢化による後継者問題があげられている
	国・都・他市・民間等 における類似事業	(財)東京都農林水産振興財団 東京緑化推進委員会「緑の募金」 財団法人都市緑化基金「花王・みんなの森づくり活動助成」
	運営上の制約条件・ 外部要因等	なし

コード 8-2-1	事務事業名 西原自然公園植生管理事業	所管部課 都市整備部公園緑地課
--------------	-----------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	雑木林の萌芽更新の計画に基づき、事業が推進され雑木林の再生が進み、市民に喜ばれている。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	小学生の授業の一環として苗木の育成を取り入れたり、間伐材の有効利用のため市民配布などを実施し、市民にみどりの大切さを知らせている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	ボランティア団体の協力を得て、管理を実施し経費の削減に努めている。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	公園ボランティアとの協働で管理し、利用者が快適に公園の散策をすることができる。また、みどりの保全をすることによって、地球の環境を守り市民全体に快適な暮らしを与えている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現状水準で事業を継続していくことで、樹林の植生を維持することができ、市民に良い評価が得られている。今後も継続実施していくことが大切である。

17年度における改善点	
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。